

31 オオメダイチドリ

(チドリ目)

Charadrius leschenaultii

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

トルコから中央アジア、モンゴル東部などで繁殖し、繁殖後はアフリカ南部、アジア南部、太平洋の島嶼、オーストラリアなどに渡り、越冬する。日本では、春秋の渡りの時期に少数が本州以南に渡来する。沖縄では一部が越冬する。海岸や河口に近い干潟、砂浜に生息する。小型のカニ類を好んで採食する。

国内分布

北海道、天売島、本州、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、上三島諸島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：加地啓子

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、西宮市、豊岡市、加古川市、高砂市、★南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個 体 数 激 減	分 布 域 激 減	餌 の 可 用 性 の 低 下	特 殊 競 争 圧	特 殊 捕 食 圧	特 殊 繁 殖 環 境	特 殊 採 餌 環 境	特 殊 休 息 環 境・	局 地 的 繁 殖	希 少
	○	○					○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と7-10月に記録があるが、記録も個体数も極めて少ない。本来の生息環境は減少しており、最近では、河口や海岸部の埋め立て工事中に一時的に出来た湿地などで記録されている。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全および回復が重要。